

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 21 年 1 月 8 日 (2009.1.8)

【公表番号】特表 2008-524806 (P2008-524806A)

【公表日】平成 20 年 7 月 10 日 (2008.7.10)

【年通号数】公開・登録公報 2008-027

【出願番号】特願 2007-546719 (P2007-546719)

【国際特許分類】

H 0 1 B 7/08 (2006.01)

H 0 1 B 7/295 (2006.01)

H 0 1 B 11/20 (2006.01)

H 0 1 B 13/00 (2006.01)

H 0 1 B 7/02 (2006.01)

C 0 8 L 71/08 (2006.01)

C 0 8 L 23/02 (2006.01)

【F I】

H 0 1 B 7/08

H 0 1 B 7/34 B

H 0 1 B 11/20

H 0 1 B 13/00 5 2 5 B

H 0 1 B 13/00 5 2 5 D

H 0 1 B 7/02 Z

C 0 8 L 71/08

C 0 8 L 23/02

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 11 月 10 日 (2008.11.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

並列隣接状態で配列された 2 以上の被覆線を含むと共に、隣接する被覆線間に 1 以上の実質的な界面接触領域を設けてなる多心ケーブルアセンブリであって、

被覆線の 1 以上が心線及び熱可塑性樹脂組成物からなる被覆を含み、

熱可塑性樹脂組成物が、

(i) ポリ (アリーレンエーテル) 、

(i i) ポリオレフィン、及び

(i i i) ポリマー相溶化剤

を含み、

被覆が心線をおおって配設されており、

各被覆線が隣接する被覆線に少なくとも部分的に接合されている、多心ケーブルアセンブリ。

【請求項 2】

当該多心ケーブルアセンブリが 3 以上の被覆線を含むリボンケーブルである、請求項 1 記載の多心ケーブルアセンブリ。

【請求項 3】

ポリオレフィンが、ポリプロピレン、高密度ポリエチレン、及びポリプロピレンと高密度ポリエチレンの組合せからなる群から選択される、請求項 1 記載の多心ケーブルアセンブリ。

【請求項 4】

ポリマー相溶化剤が、制御分布コポリマーであるブロックを有するブロックコポリマーからなる、請求項 1 記載の多心ケーブルアセンブリ。

【請求項 5】

ポリマー相溶化剤が、第一のブロックコポリマーの総重量を基準にして 50 重量 % 以上のアリアルアルキレン含有量を有する第一のブロックコポリマー、及び第二のコポリマーの総重量を基準にして 50 重量 % 以下のアリアルアルキレン含有量を有する第二のブロックコポリマーからなる、請求項 1 記載の多心ケーブルアセンブリ。

【請求項 6】

ポリマー相溶化剤がジブロックコポリマー及びトリブロックコポリマーからなる、請求項 1 記載の多心ケーブルアセンブリ。

【請求項 7】

ポリマー相溶化剤がポリプロピレン - ポリスチレングラフトコポリマーからなる、請求項 1 記載の多心ケーブルアセンブリ。

【請求項 8】

熱可塑性樹脂組成物がさらに難燃剤を含む、請求項 1 記載の多心ケーブルアセンブリ。

【請求項 9】

熱可塑性樹脂組成物が、ポリオレフィン及びポリ（アリーレンエーテル）の合計重量を基準にしてポリ（アリーレンエーテル）の重量基準の量より少ない重量基準の量でポリオレフィンを含む、請求項 1 記載の多心ケーブルアセンブリ。

【請求項 10】

1 以上の被覆線が同軸ケーブルである、請求項 1 記載の多心ケーブルアセンブリ。

【請求項 11】

2 以上の被覆線が相異なる色を有する、請求項 1 記載の多心ケーブルアセンブリ。

【請求項 12】

1 以上の心線が 1 種以上の導線、1 種以上の導電性箔、1 種以上の導電性インキ、又はこれらの組合せからなる、請求項 1 記載の多心ケーブルアセンブリ。

【請求項 13】

2 以上の被覆線を並列隣接状態で配列して、隣接する被覆線間に 1 以上の実質的な界面接触領域を設ける段階と、

熱接合、超音波溶接、溶剤接合、レーザー溶接、接着剤結合及び振動溶接の 1 以上を用いて 2 以上の被覆線を少なくとも部分的に接合する段階と

を含んでなる多心ケーブルアセンブリの製造方法であって、

被覆線の 1 以上が心線及び熱可塑性樹脂組成物からなる被覆を含み、

熱可塑性樹脂組成物が、

(i) ポリ（アリーレンエーテル）、

(i i) ポリオレフィン、及び

(i i i) ポリマー相溶化剤

を含み、

被覆が心線をおおって配設されている、方法。

【請求項 14】

第一の絶縁材シートと第二の絶縁材シートとの間に複数の心線を配置する段階と、

第一の絶縁材シートを第二の絶縁材シートに少なくとも部分的に接合する段階と、
を含んでなる方法であって、

第一及び第二の絶縁材シートはそれぞれ長さ及び幅を有すると共に、長さは幅より大きく、

複数の心線は第一及び第二の絶縁材シートの長さに沿って互いに平行に配列され、

第一及び第二の絶縁材シートの１以上が熱可塑性樹脂組成物からなり、
熱可塑性樹脂組成物が、

(i) ポリ (アリーレンエーテル) 、

(i i) ポリオレフィン、及び

(i i i) ポリマー相溶化剤

を含む方法で製造される多心ケーブルアセンブリ。

【請求項 1 5】

ポリオレフィンが連続相又は共連続相であり、ポリ (アリーレンエーテル) が分散相又は共連続相である、請求項 1 4 記載の多心ケーブルアセンブリ。